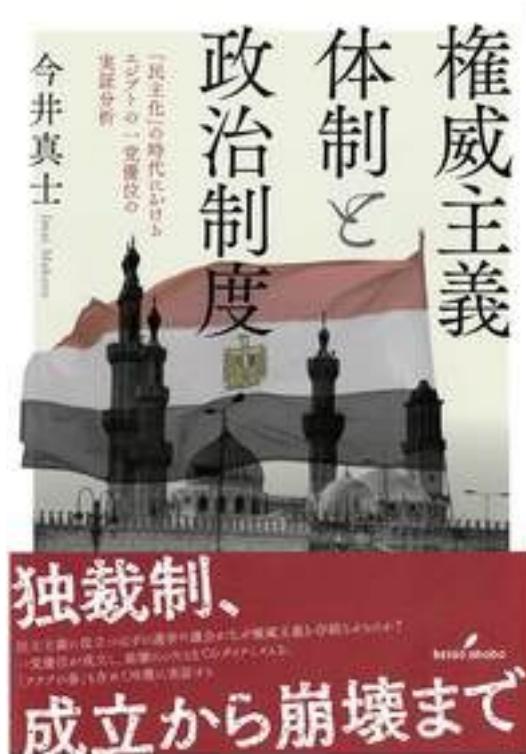


權威主義体制と政治制度



[權威主義体制と政治制度 下载链接1](#)

著者:今井 真士

出版者:勁草書房

出版时间:2017-10

装帧:平装

isbn:9784326302604

權威主義体制の一党優位はどのような条件で確立するのか?

一党優位の政党システムでは与野党間、与党勢力内、そして野党勢力内でどのような角逐と協力が見られ、その振る舞いはどのような制度に規定されるのか?

第一共和制前後のエジプトに主に注目し、「アラブの春」以後も射程に入れて、中東地域を比較政治学の俎上に載せる。權威主義体制の一党優位はどのような条件で確立するのか?一党優位の政党システムでは与野党間、与党勢力内、そして野党勢力内でどのような角逐と協力が見られ、その振る舞いはどのような制度に規定されるのか?

第一共和政前後のエジプトに主に注目し、「アラブの春」以後も射程に入れて、中東地域を比較政治学の俎上に載せる。權威主義体制の一党優位はどのような条件で確立するのか?

地域を比較政治学上の俎上に載せる。

作者紹介:

今井/真士

慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程修了、博士(法学)を取得。日本学術振興会特別研究員を経て、文教大学国際学部非常勤講師。専門は比較政治学、政治体制論、制度論、中東研究(エジプト)(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

目録: 第1章 序論

● 中東地域を比較政治学の俎上に載せる

1. 権威主義体制下の一党優位という論点
2. 観察の宝庫としての中東地域
3. 各章の構成

第2章 一党優位の概念的領域と理論的系譜

● 権威主義体制の全体像と多様性を把握する

1. 政治体制の分類枠組みと政党制度の捉え方
2. 政治体制の時代的趨勢と理論的系譜
3. 権威主義体制下の一党優位の判断基準

第3章 権威主義体制下の一党優位の確立過程

● 制度選択と「優位の好循環」をめぐる経路依存

1. 問いの設定: 与党组织の短期的機能から長期的発展へ
2. 理論的枠組み: 一党優位の長期的分岐
3. 事例分析: エジプト第一共和政(1953~2000年)
4. 制度進化の分析対象としての一党優位

第4章 権威主義体制下の一党優位と体制変動

● 競合性の制度化の効果

1. 問いの設定: 政党間の競合性の制度化を体系的に捉え直す
2. 仮説の導出: 権威主義体制下の政党政治に関する理論的蓄積
3. 仮説の検証: 競合性の制度化の計量分析
4. 権威主義体制下の与党勢力の多様性という論点

補論: 民主主義体制下における政党間の競合性の因果効果

第5章 権威主義体制下の一党優位と名目的合意形成

● 協議の場の制度設計とその効果の多様性

1. 問いの設定: 与野党間の協議の場の併設
2. 理論的枠組み: 合意形成の制度設計と効果の多様性
3. 事例分析
4. 制度としての合意形成

第6章 権威主義体制下の一党優位と選挙前連合

● 政党間の競合性と政治制度の効果

1. 問いの設定: 野党勢力の連合形成をめぐる2つの逆説
2. 理論的枠組み: 権威主義体制下の連合形成の位置付けと背景
3. 仮説の導出: 野党勢力の連合形成の論理
4. 仮説の検証: 競合性と政治制度の計量分析
5. 事例分析: エジプト第一共和政(2005年・2010年)
6. 権威主義体制下の連合形成を取り巻く多様な文脈

補論: 2010年人民議会選挙以後の連合形成と体制変動前夜

第7章 憲法起草と暫定政権期の政党政治

● 一党優位破綻後の政党システムの変化

1. 問いの設定: 暫定政権という文脈

2. 理論的枠組み：多党化と協議・協調の綱引き
3. 事例分析：エジプト第二次暫定政権（2011～2012年）
4. 暫定政権期と体制形成期

第8章 結論

●権威主義体制下の政党政治の多様性

1. 一党優位の一般的知見の整理
 2. エジプトの個別事例的知見の整理とその援用
 3. 今後の論点
- あとがき
参考文献
事項索引
人名索引
・・・・・ (收起)

[権威主義体制と政治制度](#) [下载链接1](#)

标签

比较政治

民主转型

政治学

政治制度论

政党政治

威权主义

中东研究

评论

最近好像才发现，作者是日常沉迷Keyakizaka 46的学术肥宅~~

[權威主義体制と政治制度 下载链接1](#)

书评

[權威主義体制と政治制度 下载链接1](#)